

小金井市精神保健福祉連絡協議会

長谷川病院の在宅医療について

長谷川病院 在宅診療部

看護師 富樫 剛清

本日の 内容

- ①長谷川病院紹介
- ②精神科アウトリーチについて
- ③長谷川病院の取り組み
- ④事例紹介、課題

①長谷川 病院紹介

病病床数590床（精神病床551床、
一般病床39床）

精神科救急急性期治療病棟

3病棟 120床

精神科急性期治療病棟

1病棟 42床

認知症治療病棟 1病棟 59床

その他精神科病棟 6病棟 330床

地域一般入院料（内科） 1病棟 39床

①長谷川 病院紹介

長谷川病院の特徴

- ・ 修正型で電気けいれん療法
- ・ クロザリル投与後の外来通院
- ・ 認知症治療病棟、認知症専門外来
- ・ 摂食障害治療
- ・ アウトリーチ

精神科リハビリテーション

①長谷川 病院紹介



身体リハビリテーション



②精神科アウトリーチについて

精神科アウトリーチとは

未治療の者や治療中断している者（治療契約が交わされていない者）に対し、専門職がチームを組んで、必要に応じて訪問支援を行う。

「アウトリーチ」により、保健・医療・福祉サービスを包括的に提供し、丁寧な支援を実施することにより、在宅生活の継続を可能にする。

～ 「在宅医療の体制構築に係る指針」による在宅医療提供体制のイメージ ～

身体メインの
在宅医療

在宅医療の提供体制に求められる医療機能

①退院支援

- 入院医療機関と在宅医療に係る機関との協働による退院支援の実施

②日常の療養支援

- 多職種協働による患者や家族の生活を支える観点からの医療の提供
- 緩和ケアの提供
- 家族への支援

急変

④看取り

- 住み慣れた自宅や介護施設等、患者が望む場所での看取りの実施

③急変時の対応

- 在宅療養者の病状の急変時における往診や訪問看護の体制及び入院病床の確保

医療計画には、各機能を担う医療機関等の名称を記載

- ・ 病院、診療所（歯科含む）・薬局
- ・ 訪問看護事業所・居宅介護支援事業所
- ・ 地域包括支援センター
- ・ 短期入所サービス提供施設
- ・ 相談支援事業所 等

圏域は、二次医療圏にこだわらず、市町村単位や保健所圏域など、地域の資源の状況に応じて弾力的に設定

多職種連携を図りつつ、24時間体制で在宅医療を提供

在宅医療において積極的役割を担う医療機関

- ①～④の機能の確保にむけ、積極的役割を担う
 - ・ 自ら24時間対応体制の在宅医療を提供
 - ・ 他医療機関の支援
 - ・ 医療、介護、障害福祉の現場での多職種連携の支援

- ・ 在宅療養支援診療所
- ・ 在宅療養支援病院 等



在宅医療に必要な連携を担う拠点

- ①～④の機能の確保にむけ、必要な連携を担う役割
 - ・ 地域の関係者による協議の場の開催
 - ・ 包括的かつ継続的な支援にむけた関係機関の調整
 - ・ 関係機関の連携体制の構築 等

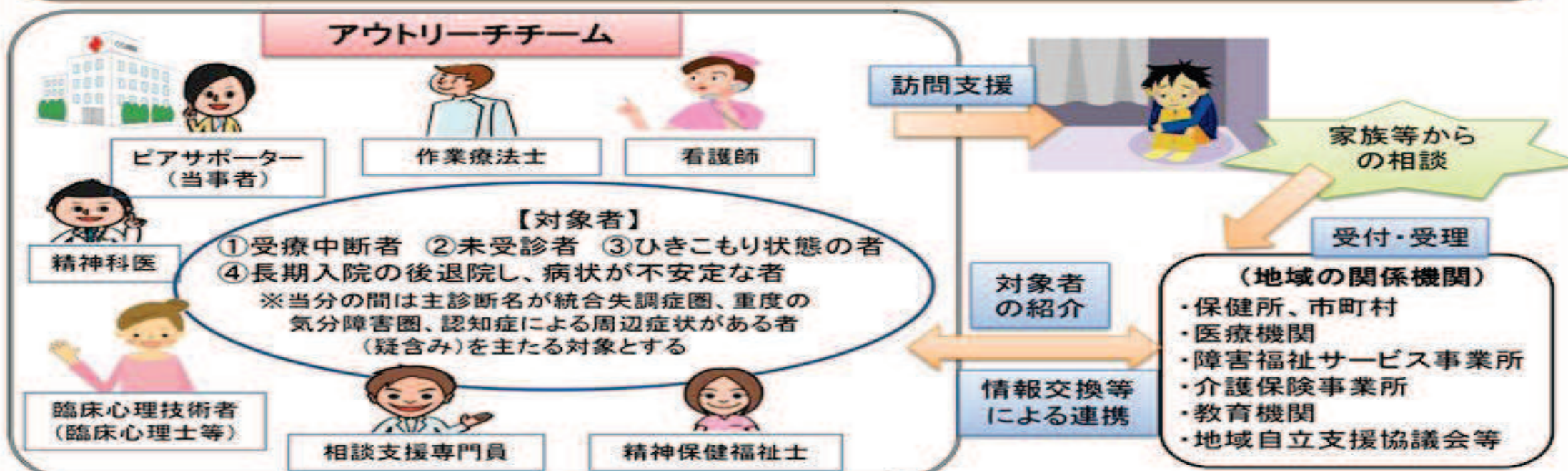
- ・ 医師会等関係団体
- ・ 保健所 ・ 市町村 等



在宅医療の体制構築に係る指針（疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について（平成29年3月31日医政局地域医療計画課長通知）より

精神障害者アウトリーチ推進事業(概要)

- 厚生労働省では、平成23年度から新たに、「精神障害者アウトリーチ推進事業」を開始。
※平成24年度予算額:7.9億円。
実施主体:都道府県で、病院等に委託可。平成24年度は24道府県・37機関で実施
※国10/10のモデル事業であり、将来の一般制度化を目指している。
- 未治療の人や治療中断している人などに対し、病院等の専門職がチームを組んで、訪問支援(アウトリーチ)を行うことにより、本人及びその家族に対して支援を行う。
- 診療報酬による支援や障害福祉サービスへとつなげ、在宅生活の継続や病状の安定を図る。



精神障害にも対応した地域包括ケアシステム

②精神科アウトリーチについて

精神科アウトリーチで行っていること（医療費算定要件）

- ①医師の訪問 訪問診療 ※往診ではない
- ②看護師の訪問 訪問看護
- ③多職種の訪問
（作業療法士か精神保健福祉士）
- ④多職種におけるチームカンファレンス
- ⑤他機関（保健所、行政）との情報共有
- ⑥24時間対応

②精神科アウトリーチについて

精神科アウトリーチの 対象者（厚労省の定めた対象）

- ①未治療、治療中断者
- ②精神疾患重症者（GAF40点以下）
幻覚・妄想が活発、他者に危害が及ぶ又は
迷惑をかける、自分を傷つける可能性。
- ③入退院を繰り返している。
- ④警察、行政、保健所の介入がある。
- ⑤受診行動がとれない。（症状、物理的要
因）

アウトリーチ の対象者

○精神疾患を疑われており下記の状態

- ・ GAF40点以下（現実検討か意思伝達に欠陥、または仕事や学校、家族関係、判断、思考または気分、など多くの面での粗大な欠陥がある状態。）
- ・ GAF30点以下（行動は妄想や幻覚に相当左右されているまたは意思伝達か判断に粗大な欠陥がある。ほとんどすべての面で機能することができない）
- ・ GAF20点以下（自己または他者を傷つける可能性がかなりある）
- ・ GAF10点以下（自己または他者をひどく傷つける危険が続いている、または、死をはっきり予測した重大な自殺行為）

③長谷川病院 の取り組み

当院アウトリーチ導入の背景

- ・当院は最寄駅から遠く、外来の利便性が良くない。
- ・三鷹市、近隣では精神科に特化した訪問診療が少ない。
- ・長期入院者の退院に向けて在宅支援、家族の不安を軽減することが出来る。退院促進。
- ・入院病棟を持ち、緊急対応ができることを強みに早期介入、早期治療による再入院の予防と入院期間の短縮ができる。支援体制の構築までの期間を短縮することが出来る。
- ・病院内ではなく患者様、家族の生活を実際に見ることで、多様な視点で病状を査定でき支援につなげることが出来る。

③長谷川病院 の取り組み

長谷川病院在宅診療部が 行っていること（算定要件＋青字当院）

- ①医師の訪問 訪問診療 ※往診ではない
- ②看護師の訪問 訪問看護 2人対応
- ③多職種の訪問（作業療法士、精神保健福祉士、栄養士、心理士、薬剤師）
- ④多職種におけるチームカンファレンス
- ⑤他機関（保健所、行政、医師会、包括、介護、訪看、薬局など）との情報共有
- ⑥24時間対応
- ⑦相談窓口、アセスメント

③長谷川病院 在宅診療部の 取り組み

長谷川病院在宅診療部が 行っていること

- ・ 訪問診療
- ・ 診断
- ・ 訪問看護
- ・ 作業療法士の訪問
- ・ 精神保健福祉士の訪問
- ・ 薬剤師の訪問
- ・ 管理栄養士の訪問
- ・ 褥瘡専門Nsの訪問
- ・ 24時間対応
- ・ 入院調整（サポート）
- ・ 採血、注射、浣腸などの処置
- ・ 精神科相談
- ・ 他機関連携
- ・ 地域貢献（講師、事業所へのSV、
連携協力、イベントへの参加）



③長谷川病院 在宅診療部の 取り組み

長谷川病院アウトリーチへの 対応事例

- ・ 保健所から未治療者の依頼
- ・ 市役所から治療中断者、難治ケースの依頼
- ・ 包括支援センターから認知症診断依頼
- ・ 訪問看護ステーションよりアウトリーチ支援相談
- ・ クリニックより重症ケースの依頼
- ・ 長期入院者の地域移行
- ・ 身体的な問題で外来受診
できないケースの相談
- ・ 施設から精神科訪問診療の依頼



③長谷川病院 在宅診療部の 取り組み

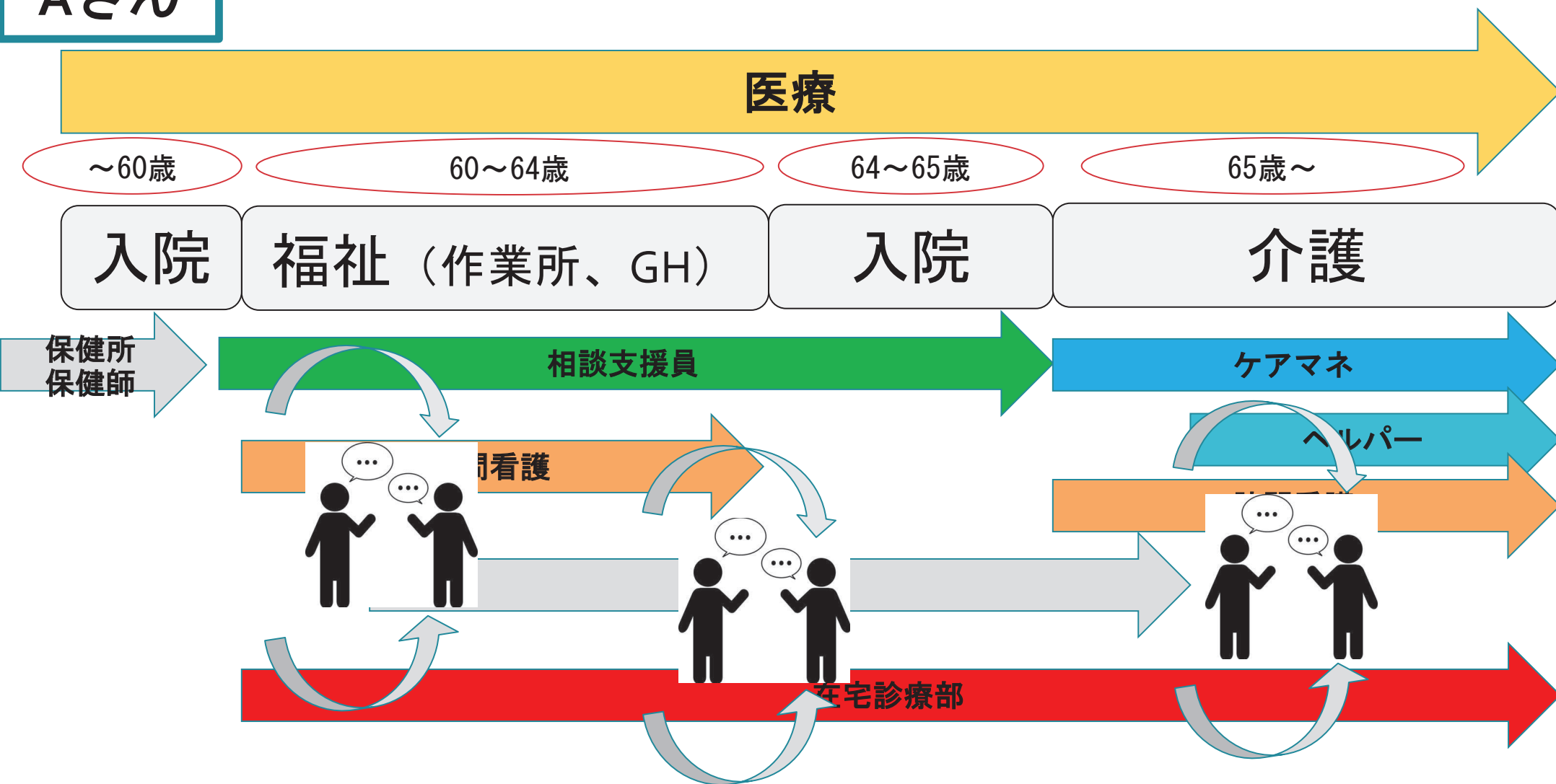
長谷川病院アウトリーチのメリット

- ・ 精神科に特化した治療
- ・ 多職種の訪問
(精神保健福祉士、作業療法士、薬剤師、管理栄養士)
- ・ 対応できるスタッフの多さ
- ・ 支援の多様さ、様々な対応
(家族支援、栄養指導、リハビリ、緊急対応、入院時の付き添い、環境整備、服薬管理)
- ・ 入院調整
- ・ 横断的に支援に関わる



例
Aさん

在宅診療部が他機関・多職種との情報共有、連携



③長谷川病院 在宅診療部の 取り組み

長谷川病院アウトリーチ 導入の流れ

精神的な問題、物理的な要因で外来受診が難しい。



長谷川病院在宅診療部(富樫)へご連絡ください。



簡単に依頼の経緯、情報の確認



受け入れ会議（1～2週間ほど）



決定連絡。顔合わせ、説明。診療日の調整。



開始

**長谷川病院精神科アウトリーチ
のご相談は
長谷川病院在宅診療部に
ご連絡ください。**

**代表番号：0422-31-8600
在宅診療部 富樫：070-3062-8715
在宅診療部メールアドレス：
zaitaku@hasegawa-hp.or.jp**



HOME

クリニックのご紹介
INTRODUCTION

はじめての方へ
FOR FIRST-TIME USERS

医師紹介
DOCTOR INTRODUCTION

診察案内
MEDICAL INFORMATION



あおいメンタル クリニックの紹介 (R7年4月開院)

JR中央線 武蔵境駅徒歩1分

<あおいメンタルクリニックでの訪問診療>

- ・ 月2回の訪問診療
- ・ 医師の往診対応

○訪問診療のご相談はクリニック代表電話か富樫まで